

すべての愛しい人たちに

「明日」という日が来るように。

「命」をつなぎたい。飲酒運転ゼロへ。

大上さん家族が被害に遭った事故は、飲酒運転撲滅の意識を全国的に高めました。しかし、あるとき失われた幼い3人の尊い犠牲を知っていながらも、心ない大人たちは、いまだに酒を飲み、ハンドルを握っています。だれもが命の重さを忘れなければ、飲酒運転は必ずなくせるはず。再び大上さん夫妻にお話を伺いました。



当にうれしそうなお表情だったといいます。カプトムシを飼い始めてから、絳彬くんは命について気づき、理解しようとしていました。「カプトムシは何で死んじゃうんだろう。死んだらどこに行くんだろ?」よくかおりさんに話していたそうです。家族みんなで、カプトムシを追いかけたあの夏、来年も再来年も、その次の年も、大好きなカプトムシに会う日がくるはずでした。それが、飲酒運転という無差別的な行為で絶たれてしまいました。たくさん

さん。あの事故がなければ、今も家族団らんの場に3人の声が響いているはずでした。「大事に、本当に大切に育ててきたから、3人を愛しいと思う気持ちは今も変わらず、ふくらむばかりです。わたしは、自分が愛していたように、子どもたちが、今でも愛してくれていると思えるから生きていきます。3人のことを思わない日は1日もありません。子どもたちへの思いが、生きることの支えだという哲史さん。事故のフラッシュバックは毎日突然、どんな状況でも意識に反して目の前に現れるといいます。

福岡県警本部
交通部 管理官
高山 勲 警視

尊い命の犠牲があるにも関わらず、県内では月おおよそ30件の飲酒事故が発生しています。飲酒運転はなくするという信念のもと、撲滅に全力をあげて取り組んでいます。

→ 家族みんなそろって。大上さんのご自宅で。

白

分が生まれた病院を知っていた絳彬くん。大上さん家族が事故に遭った日、その病院の前を通過しました。その時、絳彬くんはたずねます。「赤ちゃんは、どうやって生まれてくるの? 絳彬ちゃんが生まれてくるとき、見たかった。次に赤ちゃんが生まれてくるときは絳彬くんも見ていい?」かおりさんはやさしくほほ笑みました。「いいよ」「やったあ」絳彬くんは本

の年も、大好きなカプトムシに会う日がくるはずでした。それが、飲酒運転という無差別的な行為で絶たれてしまいました。たくさん

「あれから、ただ、耐え忍ぶだけです。この気持ちは当事者でなければどういかわらないと思います。家庭では子どもたちとの楽しかった思い出話ばかりです」とかおりさん。2人で約束したわけではなく、普段、家庭での事故の話をすることはないといいいます。大上哲史さんは言います。「わたしたちのような思いをほかの人にさせたことはありません。身勝手な行動で命を奪わないで欲しい」。

「後悔のとき」に変えないでください。そして、飲めば飲むほど、一緒にできると思い込むことが、何の罪もない命だけではなく、その先も続く未来も奪っているのです。そして「大丈夫だよ」と無責任に背中を押すことも、ただ黙って飲酒運転を見逃すことも「共犯」という「犯罪」です。

愛しいからこそ、生きていけます。

「あれから、ただ、耐え忍ぶだけです。この気持ちは当事者でなければどういかわらないと思います。家庭では子どもたちとの楽しかった思い出話ばかりです」とかおりさん。2人で約束したわけではなく、普段、家庭での事故の話をすることはないといいいます。大上哲史さんは言います。「わたしたちのような思いをほかの人にさせたことはありません。身勝手な行動で命を奪わないで欲しい」。

「後悔のとき」に変えないでください。そして、飲めば飲むほど、一緒にできると思い込むことが、何の罪もない命だけではなく、その先も続く未来も奪っているのです。そして「大丈夫だよ」と無責任に背中を押すことも、ただ黙って飲酒運転を見逃すことも「共犯」という「犯罪」です。

今

年の9月16日、大上家に新しい命が誕生しました。絳彬くん、倫彬くん、紗彬ちゃん、そして、ここに生まれたかけがえのない命...。すべてのわが子への愛おしさを込めて「愛子」と名付けられました。

いま大上さん夫妻は、4人とも抱きしめるような気持ちで、愛子ちゃんをほぐくんでいきます。これから、愛子ちゃんが大きくなって「命」の意味を理解してくれるようになったら、絳彬くん、倫彬くん、紗彬ちゃんの納骨を家族みんなで行う予定です。

大事な人だからこそ、被害者にも加害者にもしたくない...。大切な命だからこそ、奪うことも奪われることもないように...。人は、意識を変えることで「明日」も変えることができるはず。わたしたちのすべての愛しい人たちに「明日」という明るい日が来るように。決して忘れないでください。命の重さを。

